TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵 神の栄光を現すために
コリントの信徒への手紙一 10 章 14－11 章 1 節

2025 年 5 月 24 日 & 25 日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。今週末は、新しい予算と決算報告書を承認する「ファミリーギャザリング」です。TBC の教会員でまだ投票されていない方は、今から数分間投票のための時間を設けますので、「紙の投票用紙」に名前を記入し、2つの項目にチェックを入れてください。

そして後ほど献金かごに入れてください。もし「鉛筆」や「投票用紙」が見当たらなければ手を挙げて下さい。アッシャーが対応します。もしオンラインで礼拝に参加している場合、今からオンラインで投票してください。
①TBC の教会員の方は、このようなメールを受け取っているかと思います。
②メールを開き、下にスクロールして「投票をする」をクリックしてください。
③資料を開き、2つの項目にチェックを入れ、「送信」をクリックしてください。投票期日は日曜日の深夜12時です。
④投票の間、既に投票された方や教会員ではない方は、続けて礼拝しましょう。

- 賛美 -

コリントの信徒への手紙一では、パウロがコリントのクリスチャンたちに、偶像に献げられた肉を食べる権利を放棄するよう教えたことを学びました。信仰の弱い兄弟たちが真似をして偶像礼拝に陥ってしまわないためです。

また、旧約聖書のイスラエルの民は、私たちの模範であることも学びました。立っていると思っても倒れないように気をつけなければなりません。誘惑は来ますが、神は、それらと共に逃れる道をも備えてくださいます。今日は、聖書がなぜそこまで強く偶像礼拝に反対するのかを見ていきます。まず祈りましょう。

II. 神の栄光を現わすために

(1)自分で判断しなさい

コリント信徒への手紙一 10:14－15を開きましょう。このように書いてあります。「[14] 私の愛する人たち、こういうわけですから、偶像礼拝を避けなさい。[15] 私は賢い人たちに話すように話します。私が言うことを自分で判断しなさい。」

神は「逃れる道」を備えてくださいますが、私たちに「偶像礼拝を避けなさい。」とパウロは言っています。逃げなさい、つまり離れなさいということです。なぜでしょうか。パウロは「自分で判断しなさい。」と言います一「私が説明し、あなたは同意するでしょう。」

16－18 節：「[16] 私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血との交わりではありませんか。私たちが裂くパンは、キリストの体との交わりではありませんか。[17] パンは一つだから、私たちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンにあずかるからです。[18] 肉によるイスラエルのことを考えてみなさい。いけにえを食べる人は、それが献げられた祭壇と交わる者になるのではありませんか。」

「祝福の杯」とはユダヤ人の食事の最後に飲まれていたワインのことです。これはイエスが最後の晩餐で祝福した杯です。ここでは主の晩餐を指しています。

主の晩餐では、私たちは十字架上のイエスの犠牲について振り返ります。

杯から飲むとき、私たちはイエスの血と赦しにあずかったことを確認します。
一つのパンにあずかることで、私たちは共にイエスの体を造り上げていることを確認します。

ジョン・マッカーサー牧師は、これを愛する人の写真を持つ人物に例えています。写真は、その人自身と同一ではありません。その人の象徴にすぎません。私たちがその写真を見て、その人のことについて考えるときも、相手はそれを知る由もありません。
しかし私たちが「主の晩餐に参加」し、イエスの血に象徴されるイエスの愛、十字架刑と死について考えるときは全く違います。イエスはこの場にいて、それをはっきりと認識しています。そしてイエスの臨在の中で、私たちはイエスとお互いとの間に最も親密な結びつきを築きます。

偶像礼拝も同じです。イスラエルの民が荒野で金の子牛像の祭壇に関与したとき、動物をいけにえとして献げました。そして偶像の前で捧げられた肉を食べ、この偶像とお互いとの間に親密な結びつきを築きました。異教の寺院での行事に参加するコリントの人々も同じでした。彼らは動物をいけにえとして偶像に献げました。そして偶像の前で肉を食べ、偶像とお互いとの間に親密な結びつきを築きました。私たちも同じです。偶像や死者の霊を拝み、焼香や祈りを献げるとき、それらを前にして、私たちは偶像や死者の霊と親密な結びつきを築いてしまうのです。

パウロは 19－22 節でこう続けます： 「19 私は何を言おうとしているのでしょう。偶像に献げた肉とは何であるとか、偶像とは何であるとか、言おうとしているのでしょうか。20 そうではなく、彼らが偶像に献げる物は、神ではなく悪霊に献げている、と言っているのです。私は、あなたがたに悪霊と交わる者になってほしくありません。21 主の杯と悪霊の杯の両方を飲むことはできないし、主の食卓と悪霊の食卓の両方にあずかることもできません。22 それとも、主に妬みを起こさせるつもりですか。私たちのほうが、主よりも強いとでもいうのでしょうか。」

パウロは言います。「これらの偶像とは一体何でしょうか。実体あるものでしょうか。実際に肉を食べたり私たちの祈りを聞いたりするでしょうか。答えは「いいえ」です。像や位牌には、それらの内にいると主張されるような神々や故人は実際にはいません。だとしたら、何がそんなに害になるのでしょうか。

パウロはさらに言います。「また問題はあります。人々は他の何かを礼拝するように騙されるのです－それは悪霊です。」

聖書にはサタンはこの世の支配者であり、この世をその使いたち－悪霊によって支配していると書かれています。 サタンがアダムとエバを唆し、エデンの園で禁断の果実を食べるよう仕向けたとき、二人は神ではなく、サタンに耳を傾けました。

彼らは神の言葉を信じることをやめ、自らの判断を信じるようになりました。彼らは実際には誰を信じていたのでしょうか。サタンです。

サタンはその使いである悪霊を用いて、私たちが神のみを信じるのではなく、私たちを助けることができると他の神々や死者の霊をも信じるように仕向けます。私たちは祈りや焼香したり、いけにえを献げるようになり、これらと親密な結びつきを築いていきます。

そして悪霊は微笑みます。なぜならば、私たちが築き上げるその結びつきは、神々や死者の霊が存在しない以上、実際には悪霊を相手としているのです。そして悪霊は私たちがもう一度神を信じることをやめさせることに成功したのです。エデンの園の繰り返しです。そして神は嘆き悲しみます。

パウロは「あなたがたに悪霊と交わる者になってほしくありません」と言っています。私たちはイエスとの親密な結びつきの中に生きながら、同時に悪霊との親密な結びつきの中に生きることはできないのです。パウロは言います。「主に妬みを起こさせるつもりですか。」

(2)すべてのことが人を造り上げるわけではない

23－26 節：「23 すべてのことが許されています。しかし、すべてのことが益になるわけではありません。すべてのことが許されています。しかし、すべてのことが人を造り上げるわけではありません。24 誰でも、自分の利益ではなく、他人の利益を求めなさい。25 市場で売っている物は、いちいち良心に問うことなく何でも食べなさい。26『地とそこに満ちるものは、主のもの』だからです。」

「すべてのこと」とは、「聖書の中で罪と定められていないすべてのこと」を指します。私たちが尋ねるべき鍵となる質問は、「それは他人にとって益になるか。」または、「それは他人を造り上げるか。」です。

私たちの本当の問題は悪霊との結びつきであり、肉ではないため、それが神殿の外で入手されたものであれば、パウロは「食べなさい」と言います。

27－30 節：「27 あなたがたが信仰のない人に招かれて、それに応じる場合、自分の前に出されるものは、いちいち良心に問うことなく何でも食べなさい。28 しかし、もし誰かが『これは、神殿に献げた肉です』と言うなら、そう知らせてくれた人のため、また良心のために、食べてはいけません。29『良心』と私が言うのは、自分の良心ではなく、他人の良心のことです。どうして私の自由が、他人の良心によって左右されることがあるでしょうか。30 私が感謝して食事にあずかるなら、私が感謝しているものについて、どう

して悪口を言われるわけがあるでしょうか。」

パウロは、たとえそこが未信者の家であっても、肉を食べても良いといいますーそれが偶像に献げられたものだと誰も言わなければですが。

しかし、誰かが「これは神殿に献げた肉です」と言うなら、その時は食べてはいけません。ここで気付いてください‥
私たちのたちの益や良心のためではありません。なぜならば、偶像の神々は存在しないので、良心に問うことなく食べることができます。それは他人の益や良心のためです。唯一真の神を信じる私たちがそのような偶像と少しでもつながりがあると、偶像神を信じる人たちが思わないようにするためです。

今日、偶像礼拝は異なる形で行われます。しかし本当の敵は変わりませんー悪霊です。

ある人たちにとって、それは偶像や亡くなった先祖の位牌、に祈ることによって行われます。そうするとき、彼らは知らないうちに、実際には悪霊との結びつきを築くことを許してしまっているのです。彼らの益のために、それらの行為に加わってはなりません。 唯一真の神を信じる人たちが、彼らの信じているものを支持することはないことを彼らが見ることが出来るように。

日本の神社・仏閣も同じです。私たちがそのような場所に訪れるとき、私たちは礼拝するために来ているのではないため、そこにいること自体に問題はありません。しかし、他人の益のためには、そこで祀られている神々に祈ったり、鈴を鳴らしたり、賽銭をあげたり、お守りを買うことによって偶像礼拝に参加してはなりません。唯一真の神を信じる私たちが、彼らの信じているものを支持しないことを彼らが理解できるように。

また、ある人たちにとっては学校、経歴、お金、結婚が偶像になっています。彼らの益のために、それらを偶像とすることに加わらないでください。これら自体は良いものです。しかし、まるでこれらによって人が幸せになるかのように話してはなりません。それらが本来どのようなものであるかー私たちが神の栄光のために、神から与えられた賜物として話さなければなりません。

(3)神の栄光を現わすために

31 節—11 章 1 節: 「[31] だから、食べるにも、飲むにも、何をするにも、すべて神の栄光を現すためにしなさい。[32] ユダヤ人にも、ギリシア人にも、神の教会にも、つまずきを与えないようにしなさい。[33] 私が、何事につけ、すべての人を喜ばせているようにです。私は、人々が救われるために、自分の利益ではなく、多くの人の利益を求めているのです。[1] 私がキリストに倣う者であるように、あなたがたも私に倣う者となりなさい。」

聖書的な方法とは、他者のために自分を犠牲にすることです。人からの敵対にも関わらず、キリストがご自身を犠牲にしたように。そうすることで、他者は私たちの中に、神のご性質、神の栄光を見ることができます。

パウロは言います。「私がキリストに倣う者であるように、あなたがたも私に倣う者となりなさい。」私たちはパウロに倣うべきです。そうすることで今度は他者が私たちに倣うことができるように。私たちは彼らにこう言います:

私が偶像に対応する方法において私に倣う者となってください。
私が情欲、お金、学校、経歴に対応する方法において、私に倣う者となってください。

何年も前に私がスキーを習っていたとき、私はプロのスキーヤーを真似しようとはしませんでした。 上手すぎるからです。私はまず初心者クラスを受講し、最初にボーゲンを習いました。それが私にとって必要だったのです。

私たちは最高の完璧な模範になることはできません。それは人々が必要としているものでもありません。
人々が必要としているのは、祈りと神の恵みによって変えられている、彼らと同じような罪人です。私たちはそのような存在になることはできます。
どうか、私たちが偶像、情欲、お金、学校、経歴、人間関係に対応する方法を通して、他者が祝福されますように。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2225jp

奉仕者募集中！

急募！

日本語訳レイアウト&印刷（女性３名募集）

英語のスキルは必要ありません。
・月１回～、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org

★クラス 201
クリスチャンとして成長する
6 月 7 日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了した教会員

★クラス 401
クリスチャンとして成長する
6 月 15 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 を修了した教会員

★クラス 402
キリストの伝え方
6 月 29 日(日)1:00pm – 4:00pm
場所: カンファレンスルーム
参加条件: クラス 101 を修了した教会員

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu